
星のささやき * 風の音

海梨亜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

星のささやき＊風の音

【Nコード】

N8207A

【作者名】

海梨亜

【あらすじ】

余命半年…声帯を失ってもいいなら1年半。でも少女は声帯を失うことを拒んだ。「私には歌とピアノしかないの」それが彼女の支えになっていた。

第一話＊夏生と夏緒（前書き）

こんにちは。第一作品なのでまだまだ手薄です。
2人の名前が微妙に似てる！って思った人はこの後も
是非呼んで見てくださいね（＾０＾）ノ

第一話＊夏生と夏緒

白い病室にひとつのベッド。

窓からは木漏れ日が差し込みベッドを優しく包み込む。

ベッドには少女が1人たたずんでいた……

部屋の中央には白いグランドピアノが置かれている。

脇には過敏が机の上においてあり、向日葵が3本挿してあった。

「なっちゃん」

懐かしい声が少女のあたまを過ぎる。目の前には軽くウェーブのかかった髪形の

小柄の女の子。でも、頭で考えられない。

「久しぶりだね。何年ぶりかな」留学したのが5年前だから

5年ぶりだ。なっちゃんが入院してるって聞いたからビックリしちゃった」

（5年前？5年前に留学……？）

ふと少女の脳裏をよぎったのは5年前の映像……

「夏緒？」

「覚えててくれたんだあ」そだよ夏緒でえす

つい昨日ピアノ留学から戻ってきたの。思ったより帰るのが遅れたから

忘れちゃったらショックだったの」

「そっか……また学園に戻ってくるんでしょ？瑠依は元気？」

「……………私はもう戻れないと思う。」

「何で？」

少女は悲しそうに夏緒に告げる。

「もう私あと半年も生きられないの。声帯をとればよくて1年半だって

でも、私は歌うことをやめたくない！だから……ヒック……夏緒には……私の分もっ

幸せに…ヒック…なつて…ほしいの」

もう涙目になりながら話し続ける。手は震えていてまともに話せていなかったが

夏緒は真剣に聞き取るうとする。

「そんな弱気にならないでよ。まだ半年もあるんでしょ？頑張ろうよ！ね？夏生」

「そう…だね。私…頑張るから！」

にこつと夏生は微笑んだ。それにつられて夏緒も。

「あと半年…頑張るから！」

「頑張つて。いい事企画しておいてあげる。お楽しみに待つてて」

「????うん。わかった。」

そういつて夏緒は病室を出て行った。

夏生はベッドから降り、ピアノのいすに座る。

ポーン…と音を響かせたあと弾き始めたのは『華麗なる大円舞曲』
静かな病院を綺麗な旋律が流れていく。

「夏生ちゃん。検温ですよ」

看護婦が来たときには夏生はベッドではなくピアノに寄りかかって寝ていた。

くすつと看護婦は笑い、夏生の肩にタオルケットをかける。

手早く検温を済ませ病室を出て行った。

「夏生！ビッグニュース！ビッグニュース！って…寝てるのか。
じゃあメモを残してくか。転入手続きもあるしな」

——風の旋律はどこまでも流れ続ける。

終わりのない…ピアノの旋律のように

第一話＊夏生と夏緒（後書き）

＊＊＊主人公＊＊＊

Name 御園 みその 夏生 なつき ♀

説明 14歳。ピアノと歌が得意な中学2年生。

夏緒とは親友。原因不明の病気で余命半年を宣告された。

Name 桐沢 きりざわ 夏緒 なつお ♀

説明 14歳。つい昨日までピアノ留学をしていたくらいのピアノっ子。以外と男の子っぽい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8207a/>

星のささやき＊風の音

2010年10月14日20時38分発行